

御札のお世話をしてくださる方へ

1 御札とはく神宮大麻と氏神大麻

三重県伊勢市に鎮座する伊勢の神宮は、天照大御神様をお祀りしています。天照大御神様は日本で最も尊い神様で日本人の総氏神様です。神宮の御札を『神宮大麻』といいます。

氏神神社は、その土地やそこに住む人々をお守り下さる氏神様をお祀りしています。氏神様は昔、氏姓が同じ一族に縁の深い神様を氏神様としてお祀りしていました。氏神神社の御札を『氏神大麻』といいます。

2 御札は神様からの御璽です

御札は、神前にて降神の儀を受けた神様の御霊（みたま）が宿られた御璽（みしろし）です。神様から授かるものの為、大切に扱って下さい。



3 御札に掛かっている薄紙（上巻紙）は

御札には薄い紙が巻いてあります。これは上巻紙といい、御札を各家庭の神棚へお祀りするまで清浄に保ち、汚れる事のないように施されたものです。神棚に祀る際には、取り外してからお祀りします。



4 御札の数え方と初穂料について

御札は普通の物品を売買するような言葉遣いはいしません。数え方は一体（いったい）二体（にたい）と数えます。

また、代金や料金という言葉は使わずに初穂料と言います。初穂料とは、初穂（その年に初めて収穫された農作物）の代わりとして納める金銭の事を言います。古来、神様には農作物が奉納されていた為このように言います。また「売る・買う」とも表現せず「頒布する／授与する・受ける」と言います。

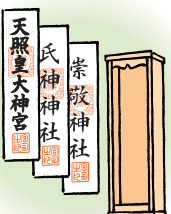
【例】「神宮大麻一体の初穂料は〇円です。受けられますか？」

5 神棚について

御札をお祀りする神棚は、家族の集まる清らかな場所にあるのが良いです。なるべく南向き、または東向きに奉安します。

最近アパート、マンションや新興住宅地が多くなり、神棚のないご家庭が多くなっています。神棚をお持ちでない方には神棚の購入をお勧め下さい。神棚が無い場合でも高い所に白い布を広げ、その上にお祀りする事もできますが、できれば簡易的な神棚でもあるのが望ましいです。

神棚が一社造りの場合は、一番手前に神宮大麻、次に氏神大麻、その後ろに崇敬する神社の御札をお祀りします。



6 毎年新しい御札にお取替え下さい

御札は一年に一度お取替えします。神様の宿った御札は一年経ったのち、神社へ感謝の気持ちをお返しします。そして新しい一年を平穏無事に暮らせるよう、新しい御霊が宿った御札を受け、新たな御札をお祀りします。